

令和6年8月2日

## 東四つ木地域の施設一体型校舎整備基本構想・基本計画（案）説明会（報告）

日頃より、葛飾区の教育行政並びに東四つ木地域の木根川小学校、渋江小学校、中川中学校の学校運営にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

令和6年7月2日（火）・3日（水）に開催した標記に係る保護者及び近隣住民向け説明会におきまして、様々なご質問・ご意見を頂戴しました。説明会でのご質問等への回答要旨をまとめましたので、ご報告いたします。

引き続き、東四つ木地域の施設一体型校舎整備へのご理解ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 1 説明会の概要

#### (1) 開催日時

- ①令和6年7月2日（火） 午後6時から午後7時まで
- ②令和6年7月3日（水） 午後6時から午後6時30分まで

#### (2) 開催場所

- ①木根川小学校 体育館
- ②渋江小学校 体育館

#### (3) 参加者

- ①12人、②4人 合計16人

### 2 動画による説明

#### (1) 掲載期間

令和6年6月26日（水）～掲載中

#### (2) 再生回数

163回（8月1日時点）

### 3 主な質問と回答

No.	質問	回答
1	新校舎にプールは新設しますか。	木根川小学校敷地に建設する施設一体型校舎にプールは整備しません。小学校のプール授業は、学校外の屋内温水プールを活用し、授業を行っております。 中川中学校については、既存中川中学校体育館の屋上プールを活用する計画です。

2	防災に強い建物を建設してほしい。	<p>水害時に避難所となる体育館は浸水深よりも高い位置に床面を計画しており、体育館に近接した位置に備蓄倉庫を設置します。冷暖房設備の設置や、校庭から直接避難ができる屋外階段の設置も検討しています。また、太陽光発電設備や非常用発電設備を設置し、災害時にも電気が利用できるようにすることや、飲料水の確保を目的として、貯水機能付きの給水管を設置するなど、災害時に機能する避難所として整備する方針としています。詳しい内容につきましては今後、防災担当部署と連携しながら検討してまいります。</p>
3	<p>渋江小学校、中川中学校は今後どのような形で跡地を活用することを考えていますか。</p>	<p>中川中学校につきましては、体育館棟を残し、屋上のプールを活用して水泳の授業を行うことを考えています。校庭については学校活動での活用や、学校が使っていない時間帯には地域の方に地域活動で活用して頂けるような施設整備を考えています。また、渋江小学校の跡地については、現時点では具体的な活用方法は決まっておりませんが、地域の方々にとってより良い活用方法を引き続き検討してまいります。活用方法につきましては地域の皆様にも説明会などでご報告いたします。</p>
4	<p>ゾーニング案の北側配置案では入口は分けていますが、玄関が混雑するのではないかと感じている。</p>	<p>児童・生徒の出入口につきましては、現在の木根川小学校は西門のみですが、改築後は西門と北門の2つの正門を活用し、小学生・中学生それぞれの昇降口に向かう形になります。小学校・中学校の昇降口を分けることで人流が集中しないような管理をしていきたいと考えております。</p>
5	<p>木を使うとのことだが、火事の問題を心配している。</p>	<p>木材につきましては、これから設計を進めていくため、どの部分に使用するかは決まっておりません。直近の事例として、水元小学校では児童が手で触れられる身近なところに木材を使っております。躯体には木材を使わずに耐火性能は落とさないように計画を進めます。</p>